

# CASBEE® 名古屋

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル2016 | 使用評価ソフト: CASBEE\_Nagoya\_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)オープンレジデンシア中区伊勢山二丁目II 新築工事	階数	地上15F
建設地	愛知県名古屋市中区伊勢山二丁目1112番	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域・防火地域	平均居住人員	115 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年6月 予定	評価の実施日	2021年10月6日
敷地面積	365 m <sup>2</sup>	作成者	
建築面積	230 m <sup>2</sup>	確認日	2021年10月16日
延床面積	2,916 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**= BEE1.0**

★:S:★★★★★ A:★★★★★ B+:★★★★ B:★★★ C:★☆☆☆☆

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	84%
③上記+②以外の	84%
+④上記オフサイト手法	84%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5  
Q1 室内環境: 3.3  
Q3 室外環境(敷地内): 2.5  
LR1 エネルギー: 3.1  
LR2 資源・マテリアル: 2.9  
LR3 敷地外環境: 3.2

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質**

**Q1 室内環境** (Q1のスコア= 3.3)

音環境	3.8
温熱環境	3.0
光・視環境	3.0
空気質環境	3.7

**Q2 サービス性能** (Q2のスコア= 2.7)

機能性	2.3
耐用性	3.0
対応性	3.0

**Q3 室外環境(敷地内)** (Q3のスコア= 2.5)

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性・	2.5

**LR 環境負荷低減性**

**LR1 エネルギー** (LR1のスコア= 3.1)

建物外皮の	3.0
自然エネ	2.0
設備システ	3.4
効率的	3.0

**LR2 資源・マテリアル** (LR2のスコア= 2.9)

水資源	2.2
非再生材料の使用削減	3.0
汚染物質回避	3.7

**LR3 敷地外環境** (LR3のスコア= 3.2)

地球温暖化	3.6
地域環境	2.9
周辺環境	3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	利用者に配慮し、F☆☆☆☆を使用している。 主要給排水配管は耐用年数が長い材料を使用している。 ライフサイクルコストの低減に努め、地球環境保護に配慮している。	
その他	特になし。	
Q1 室内環境	開口部遮音性能:T-2以上。 2.0% ≤ [昼光率]。	Q2 サービス性能 評価方法基準で等級3相当。
Q3 室外環境(敷地内)	植栽により、良好な景観を形成している。	
LR1 エネルギー	[BEI]= 0.96。	LR2 資源・マテリアル LGS使用している。 ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。
LR3 敷地外環境	ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率 84%。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

### 重点項目スコア・結果シート

((仮称)オープンレジデンス中区伊勢山二丁目Ⅱ 新築工事)

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル2  
 ■評価ソフト: CASBEE\_Nagoya\_2016(v3.0)

重点項目		評価	全体に対する 重み係数	重点項目 スコア
1. 温暖化対策				3.2
LR1	エネルギー	3.1	0.4	/
LR3.1	地球温暖化への配慮	3.6	0.1	
LR3.2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.05	
2. 自然共生				2.3
Q3.1	生物環境の保全と創出	2.0	0.09	/
Q3.3.1	地域性への配慮、快適性の向上	無	0.009	
Q3.2	まちなみ・景観への配慮			
Q3.3.2	敷地内温熱環境の向上	3.0	0.045	
3. 循環型社会				2.8
LR2.1	水資源保護	2.2	0.06	/
LR2.2	非再生性資源の使用量削減	3.0	0.18	
LR3.2.3	地域インフラへの負荷抑制 ※2	2.7	0.01875	

### 結果

#### 1. 温暖化対策

評価点 = 3.2



#### 2. 自然共生

評価点 = 2.3



#### 3. 循環型社会

評価点 = 2.8



重点項目のスコアは以下のように算出している。

$$\text{重点項目スコア} = \frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}) \text{の総和}}{\text{全体に対する重みの総和}}$$

※1 ここでは、Q3. 3. 1の評価する取組みのうち評価項目 1) 2) 地域性のある材料の使用 又は、Q3. 2において評価する取組みのうち評価項目 4) 地域性のある素材による良好な景観形成 のいずれかでポイントがある場合は「有」、ない場合は「無」を評価とした。重点項目スコアの算出における評価点は評価「有」の場合は5、「無」の場合は1とし、重みはQ3. 3. 1の全体に対する重みに0. 2を乗じたものとしている。

※2 ここでは、LR3. 2. 3のうち、LR3. 2. 3. 3 交通負荷抑制 を除いたもので評価点及び全体に対する重み係数を算出している。したがって、ここでの評価点はスコアシートにおけるLR3. 2. 3の評価点とは異なるものである。